

標題

スイーツで美味しまね認証をPR！

その1 ～美味しまね認証ぶどうスイーツ発表会を開催～

(ダイジェスト)

雲南地域GAP推進協議会では、令和5年8月23日（水）に雲南市役所で「美味しまね認証ぶどうスイーツ発表会」を石飛雲南市長同席のもと開催しました。

この発表会は、8月25日～27日に開催する「美味しまね認証ぶどうスイーツフェアin雲南」に先だって、地元菓子店が開発したスイーツが一堂に並び、生産者と菓子店によるぶどうとスイーツの説明、市長による試食・求評を行いました。

雲南地域GAP推進協議会では、8月23日にフェアに先だって「美味しまね認証ぶどうスイーツ発表会」を雲南市役所で開き、市長へ4種の地元産ブドウと約20種の工夫をこらした多様なスイーツを披露、美味しまね認証取得ブドウの美味しさをアピールしました。

今回、スイーツに使用した品種は、県オリジナル品種の「神紅」と「シャインマスカット」「巨峰」「クイーンニーナ」で、各店舗は、島根県GAP生産者協議会のサポーター企業活動強化助成金を活用してスイーツの開発を進められました。

発表会ではタルトやショートケーキ、大福など自慢の和・洋のスイーツが並び、各店からの商品紹介後に市長が試食され、「それぞれの美味しさに個性があって、新たなブドウの楽しみ方の発見もあった。市内外の消費者に店舗へ寄っていただきたい」と笑顔でPRされました。

当日は、テレビ局4社をはじめ新聞各社等の多数の報道機関の取材を受けて、美味しまね認証と雲南ぶどうを大きくPRできました。

※美味しまね認証とは、産品が県の定めたGAP（農業生産工程管理）基準に基づき生産されていることを認証する県のGAP認証制度です。



石飛市長とぶどう生産者・加工事業者



今回試作されたスイーツ